

浄化槽の保守管理 バクテリア製剤のご提案

- ・ K-57JD（前処理剤）
- ・ K-37JD（保守管理用）



株式会社エムアイオージャパン

商品紹介 『K-37JD』 『K-57JD』



商品名	K-57JD
容量	946ml
用途	浄化槽前処理剤



商品名	K-37JD
容量	946ml
用途	浄化槽保守管理用

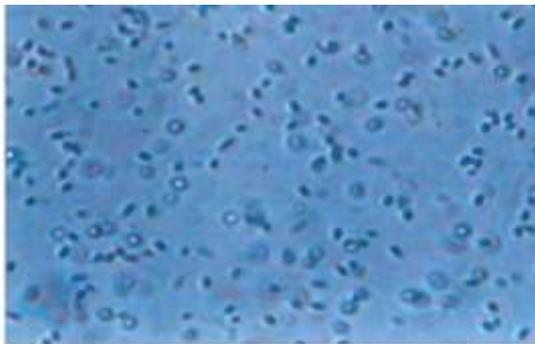
ROEBIC社

米国のバイオトップメーカーROEBIC社は、約半世紀前から浄化槽クリーナーを中心とした環境にやさしいバイオクリーナーを全世界に供給しているリーディングカンパニーです。



バクテリアについて

- 浄化槽保守管理用『Kシリーズ』は米国パテントを取得しているすぐれたバクテリアを採用しています。
- 多品種バクテリア群は個々の特徴を活かし、あらゆる状況化で有機分解を促進します。
- バクテリアは米国USDSの規格に適合し、世界最大のバイオバンクATCCでも登録されています。



バクテリア
(電子顕微鏡)

特長

安全性

- ・ 成分は各公的機関の認可を受けた安全性の高いバクテリアのみを使用しています。

すぐれた効果

- ・ 油脂、汚物、ペーパーなどを分解し、堆積物を減少させます。
- ・ 硫化水素臭、アンモニア臭、アミン臭等を強力に消臭します。

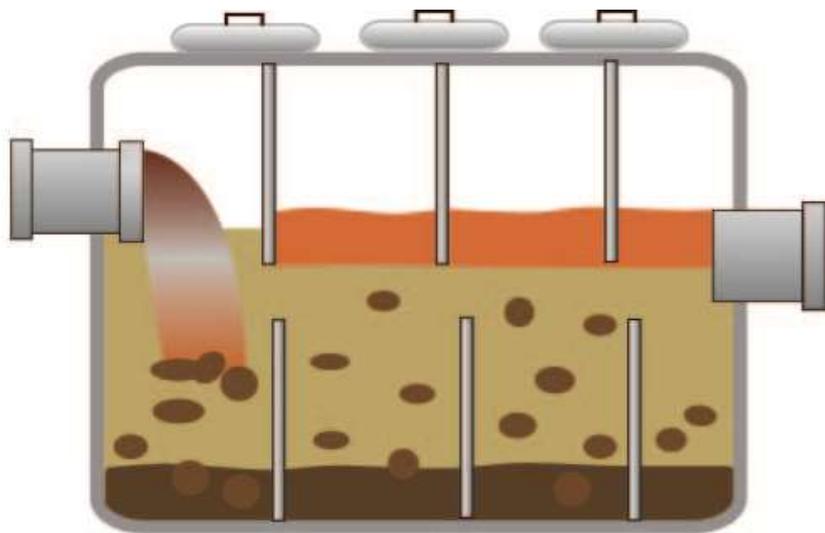
経費節減

- ・ 水質が安定し、清掃等の維持管理費が節減できます。（BOD, ノルマルヘキサン、SSの低減）

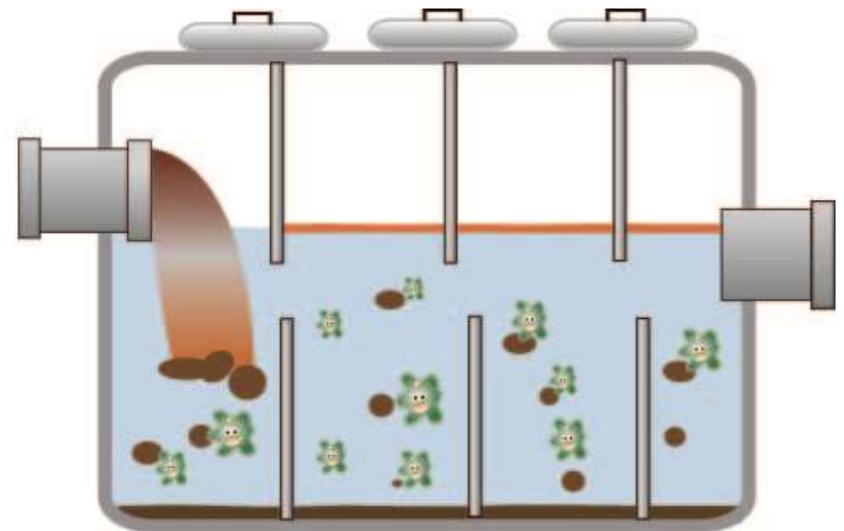
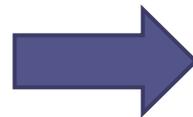
安全性

- 米国ATCC(American Type Culture Collection)にてセーフティレベル1として登録済み
- 日本国内の第三者機関にて遺伝子解析(16S rDNA-500)によるバクテリアの『セーフティレベル1』を確認済み
(試験機関:株式会社テクノスルガラボ)

効果



使用前



使用后

バクテリアが浄化槽内の汚物、油脂、ペーパーなどを分解し、水質を安定させます。

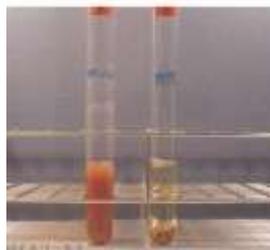
性能試験（たんぱく質分解試験）

たんぱく質分解能力試験（クックドミート試験）

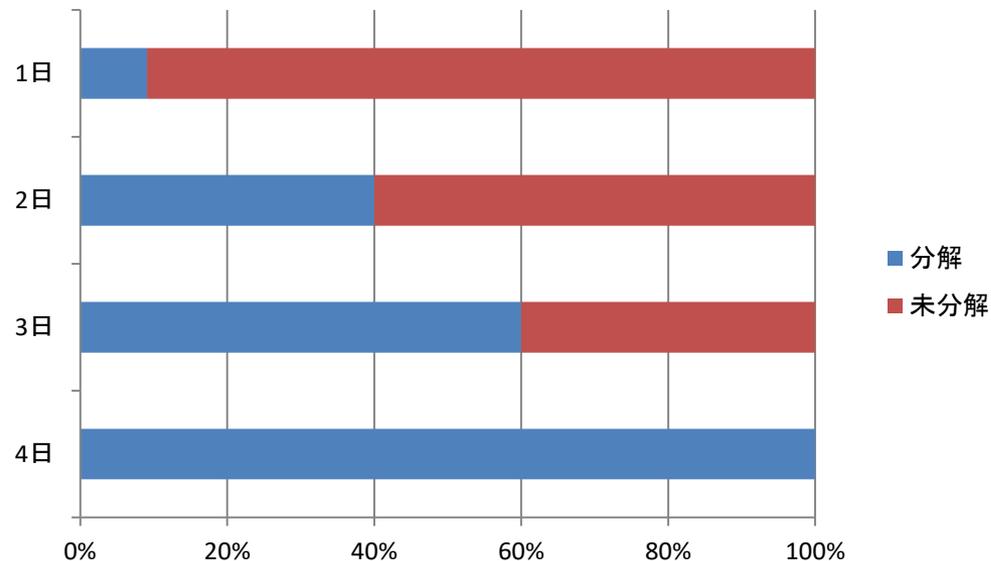
蛋白質（タンパク質）は通常の洗剤（界面活性剤）等では分解されにくい物質のひとつです。蛋白質に対する分解能力試験の結果、4日間で100%分解する事ができました。（試験機関：バチルワールド）



試験開始時



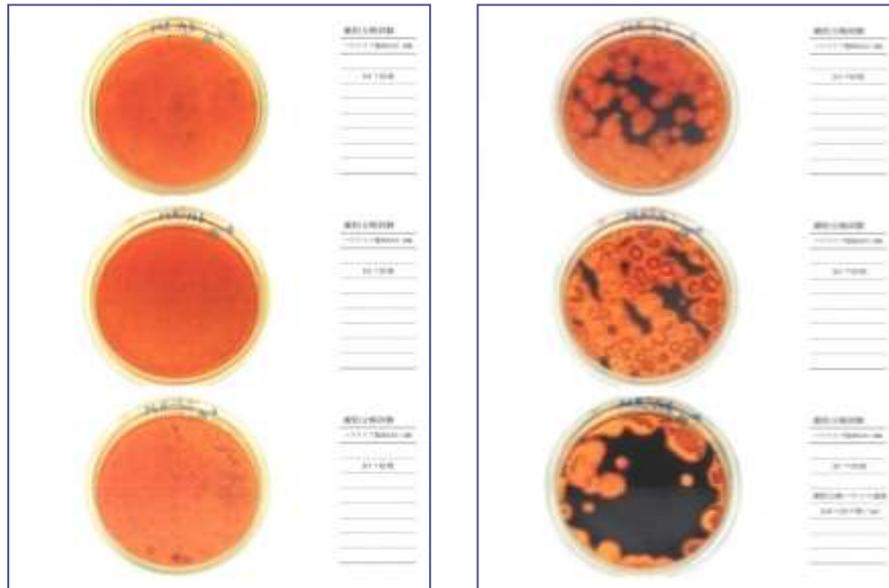
試験開始後4日



性能試験（デンプン質分解試験）

澱粉質分解試験

澱粉に対する分解能力試験の結果、一般的なバクテリアと比べ澱粉質の分解能力が極めて高いことが確認され、『レベル5』という最高評価を受けました。（試験機関：パチルワールド）



性能試験（抗菌力）

大腸菌に対する発育抑制試験

雑菌の代表菌である大腸菌 (Escherichia coli NBRC 3972) に対する抗菌試験の結果、高い抗菌能力が確認されました。(試験機関: 衛生微生物研究センター)

検体のEscherichia coliに対する抗菌試験成績

検体名	初発菌数	生菌数/mL	
		24時間後	48時間後
バクテリア製剤MR106	3.5×10^6	$<10^1$	$<10^1$



分解メカニズム

細菌が有機廃物を分解するメカニズム



使用方法

浄化槽の場合

初期処理

K-57JDを浄化槽から一番近いトイレから投入し、その後バクテリアが浄化槽に届くようにトイレの水を2回ほど流してください。

定期メンテナンス

K-57JDで初期処理後効果が安定すれば、K-37JDで定期的にメンテナンスを行います。K-37JDを浄化槽から一番近いトイレから投入し、その後バクテリアが浄化槽に届くようにトイレの水を2回ほど流してください。その後も浄化槽を安定的に保つため、定期的に使用ください。

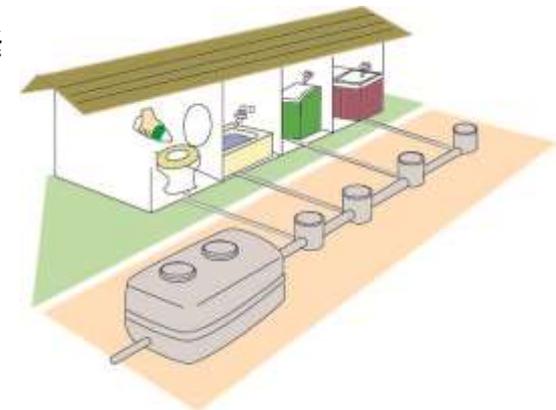
目安使用量および使用頻度

- ・5人槽に対し、946mlを投入
- ・家庭用浄化槽：年に3～4回 ・業務用浄化槽：毎月1回

※使用量や使用頻度は状況により変わります。一時的に浄化槽の機能が低下した時は緊急用としてK-57JDをご使用下さい。

汲み取り式トイレ・簡易トイレの場合

汚水タンク500Lにつき、本品200mlを投入します。



使用事例 (食品スーパー合併浄化槽)

【報告者】 (株)エムアイオージャパン 戸田典彰

【テスト期間】平成17年6月15日～6月28日

【店舗名】

【使用箇所】地下浄化槽 容量約20トン

【使用製剤】ロービック社 浄化槽用【K-37JD】

【現況】悪臭とコバエが発生している。店舗近隣の電機店より悪臭の苦情があり早急に対応する必要がある。

【テスト後】浄化槽からは悪臭が全く感じ取れないレベルである。検知管でアンモニア、硫化水素の2項目について計測した結果、限界測定値以下である。

コバエも減少している。

苦情があった近隣の電機店に確認したところ、テスト開始後悪臭が気にならなくなったとの報告を受ける。



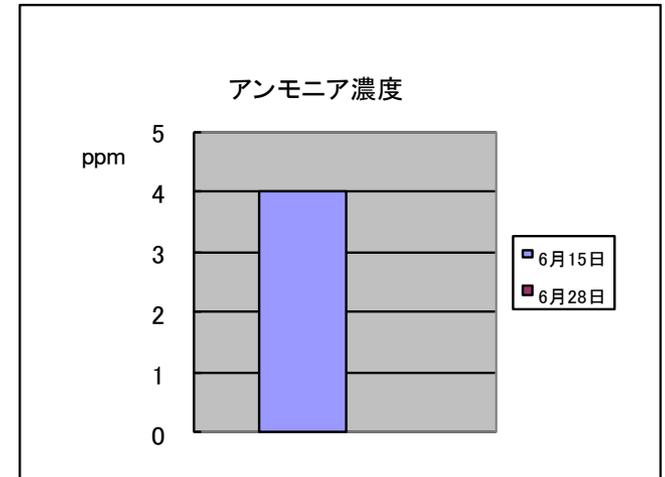
使用前
アンモニア濃度 4ppm



使用后
アンモニア濃度 1ppm以下



臭気\日時	6月15日 (清掃直後)	6月28日 (13日後)	備考
アンモニア臭 (NH ₃)	4ppm	1ppm以下 (計測不能)	検知管NO.3L
硫化水素 (H ₂ S)	0.2ppm以下 (計測不能)	0.2ppm以下 (計測不能)	検知管NO.4 LT



使用上のご注意

- 用途以外に使用しないで下さい。
- 高温多湿の場所や直射日光の当たる場所では保管しないで下さい。
- 本品は、天然バクテリア商品ですので、条件により十分な効果が出ない場合もあります。(水質を保証するものではありません)
- ご使用の際は、エアレーションを行ってください。
- 使用頻度が高い浄化槽は、投入量を増やしてご使用下さい。
- 浄化槽内に強アルカリ、強酸性、殺菌剤、洗剤などが多量に流入した場合、バクテリアの活性を弱める場合があります。
- 敏感肌の利用者は念のためゴム手袋をご使用下さい。